

# 早期景気観測調査

**【4-5月期 調査結果概要報告書】**

平成25年6月



**甲府商工会議所**

## ◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成25年5月15日(水)～31日(金)
4. 調査対象： 当所会員 163事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 118（付帯調査回答数：102）
7. 有効回答率： 72.4%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

【4－5月期の動き】

### 業況DIは3期連続の改善、 先行きも期待感が後押し

4－5月期の全業種総合の業況DIは▲25.4と、前期から3.3ポイント改善し、3期連続での業況改善となった。依然として仕入れ単価の上昇が目立つが、前期から続く売上の改善により、採算に回復が見られた。一方、従業員には依然過剰感が出ており、金融機関の貸し出し姿勢も若干の改善にとどまった。昨年末からの安倍政権による経済政策に対して、中小企業からは逆効果との声も挙がっており、現状では景気回復の実感に乏しく、やや期待先行の状況が続いている。

業種別では、製造業・建設業・サービス業で業況が改善し、卸売業・小売業では悪化した。製造業は、3期連続の業況改善となったが、高騰する原材料費への対応に苦心する声が多い。建設業では、業況は改善に転じたが、常態化するコスト高や人材不足に対する懸念の声が根強い。サービス業については、全体としては改善傾向にあるが、事業所によって今後に対する期待と懸念にばらつきがみられる。卸売業・小売業は、ともに食品関連の業況悪化が著しい。

先行きに関しては、先行き業況DIが▲23.7（今期比+1.7ポイント）となっており、小幅ながら改善する見通しである。依然として、各種費用増大に伴う収益圧迫に対する懸念の声は大きい。一方で、経済政策の波及効果の見込みや、富士山の世界遺産登録の影響による期待感から、回復基調は続く見通し。

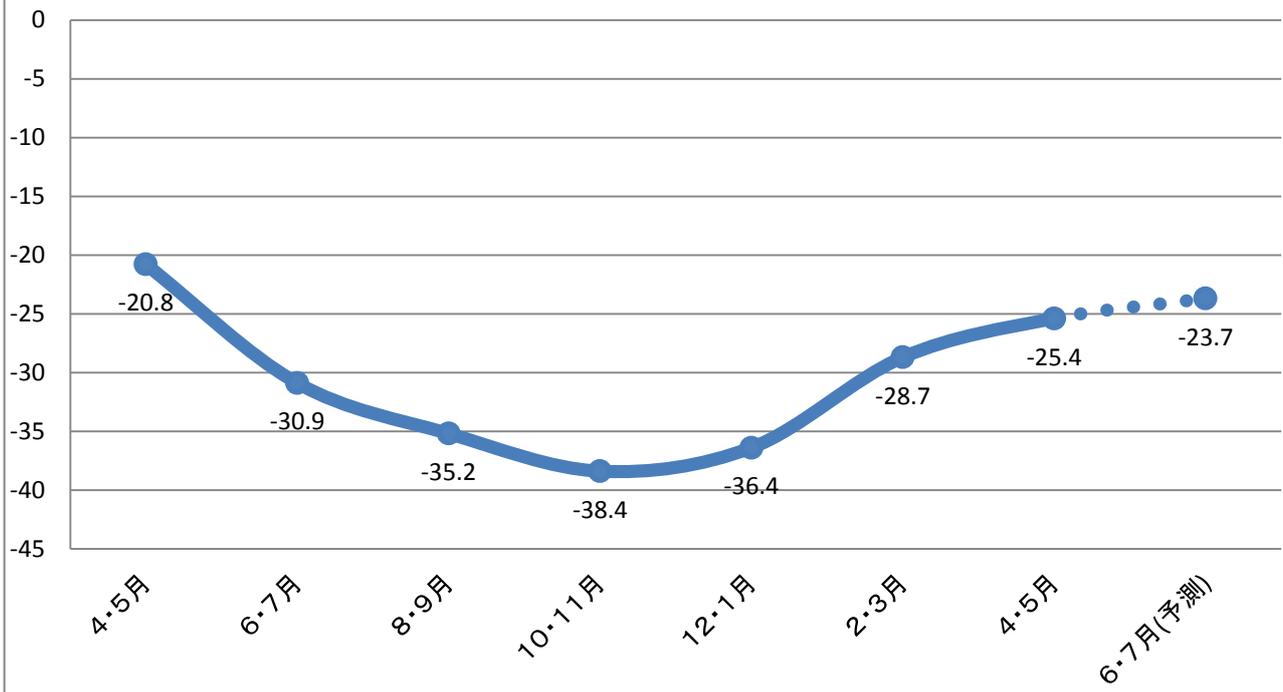
【付帯調査(富士山の世界文化遺産登録に伴う貴社への今後の影響について)】

### 「影響がある」3割

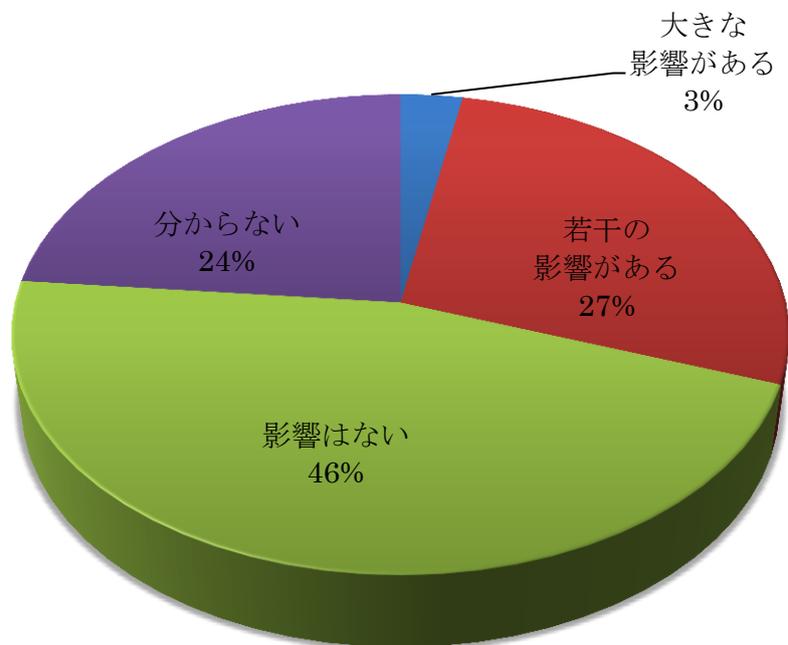
付帯調査として、「富士山の世界文化遺産登録に伴う貴社への今後の影響について」択一回答で尋ねたところ、「大きな影響がある」「若干の影響がある」と回答した事業所を合わせると30%（31事業所）にとどまった。

一方で、「影響はない」と回答した事業所が46%（47事業所）に上ったことから、富士山の世界文化遺産登録に伴う事業所への直接的な影響は、現時点では限定的であることが伺える。

## 業況D I の推移



## 富士山の世界文化遺産登録に伴う貴社への今後の影響について

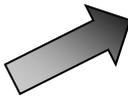
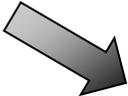


## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値 ( 景況判断指数 ) について

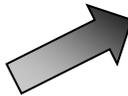
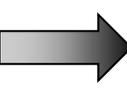
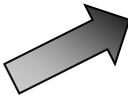
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

### ◆指標の見方

前回D I に比べて ( 先行は今回実績値に比べて )		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 ( 改善 ) と表示しております。  
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 ( 改善 ) と表示しております。

## ◆全業種総合

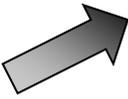
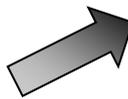
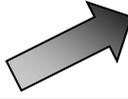
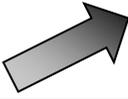
業況	業況 ( 先行 )	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 25. 4	▲ 23. 7	▲ 15. 3	▲ 32. 2	▲ 50. 0	▲ 0. 8	▲ 3. 4

4－5月期の全業種総合の業況D I は、**▲25. 4** ( 前期比+3. 3ポイント ) となり、3期連続での改善となった。また、売上D I は2期連続の改善となり、採算D I も6期ぶりに改善に転じた。一方で、仕入単価D I は5連続で悪化しており、従業員D I はマイナス水準のまま不変であった。金融貸出しD I は、小幅ながら改善に転じている。

先行きに関しては、改善に向かうと予測している。

## ◆ 業種別

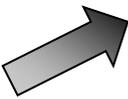
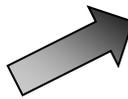
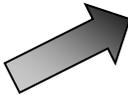
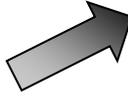
### 製造業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 6. 9	0. 0	▲ 3. 4	▲ 1 3. 8	▲ 5 5. 2	▲ 1 0. 3	▲ 1 0. 3

業況D Iは、3期連続の改善となった。また、売上D Iも2期連続で改善しており、採算D I・仕入単価D Iは悪化から改善へと転じた。しかしながら、従業員・金融貸出しD Iは、ともに2期連続で悪化している。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

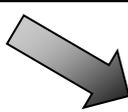
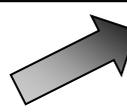
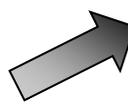
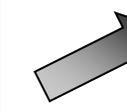
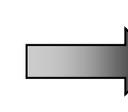
### 建設業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 2 7. 3	▲ 1 8. 2	▲ 2 7. 3	▲ 4 5. 5	▲ 8 1. 8	▲ 1 8. 2	0. 0

業況D Iは、改善に転じた。売上D Iは3期連続での改善となり、採算D Iも改善に転じた。一方で、仕入単価D Iは6期連続、従業員D Iは2期連続での悪化となった。金融貸出しD Iは小幅ながら改善に転じた。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

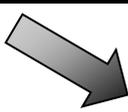
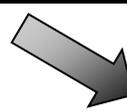
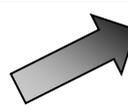
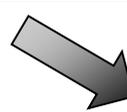
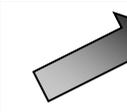
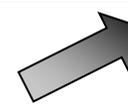
卸売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3 5 . 5	▲ 2 9 . 4	▲ 1 7 . 6	▲ 5 8 . 8	▲ 5 2 . 9	5 . 9	0 . 0

業況D Iは、悪化となった。売上D Iが7期ぶりに大幅な改善へと転じたが、採算D Iは3期連続で悪化、仕入単価D Iは大幅な悪化に転じた。一方で、前期に急激に悪化した従業員D Iは、一転大幅な改善へと転じた。また、金融貸出しD Iは不変であった。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

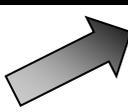
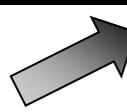
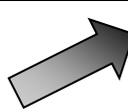
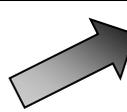
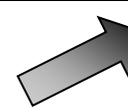
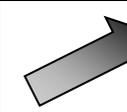
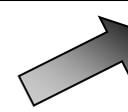
小売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3 2 . 3	▲ 4 5 . 2	▲ 2 2 . 6	▲ 3 5 . 5	▲ 2 9 . 0	9 . 7	0 . 0

業況D Iは4期ぶりに悪化となった。売上D Iは2期連続で改善となったが、採算・仕入単価D Iは悪化へと転じた。従業員・金融貸出しD Iについては、ともに小幅ながら改善へと転じている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、悪化を予測している。

サービス業

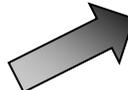
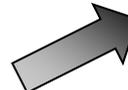
業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3 1 . 6	▲ 2 6 . 3	▲ 5 . 3	▲ 1 5 . 8	▲ 3 6 . 8	1 0 . 5	▲ 5 . 3

業況D Iは、2期連続での改善となった。また、売上・採算D Iも2期連続で改善しており、ともに大幅な改善となっている。加えて、仕入単価・従業員・金融貸出しD Iのいずれも改善へと転じる結果となった。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

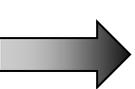
製造業（家具）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

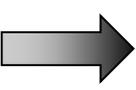
製造業（工業製品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

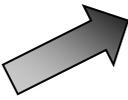
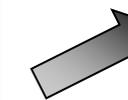
製造業（宝飾）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

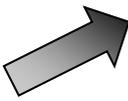
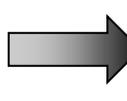
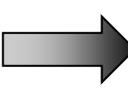
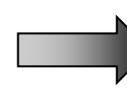
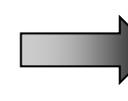
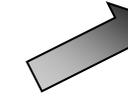
製造業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

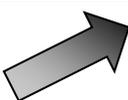
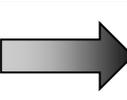
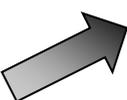
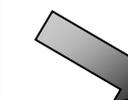
建設業（建築）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

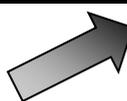
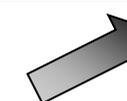
建設業（土木）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

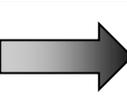
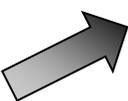
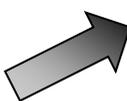
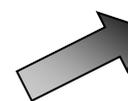
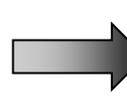
建設業（鉄鋼）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

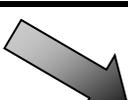
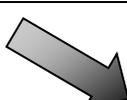
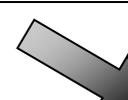
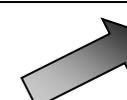
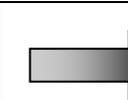
卸売業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

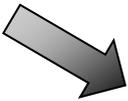
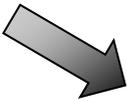
卸売業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

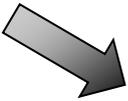
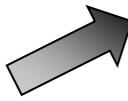
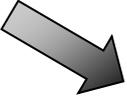
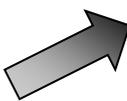
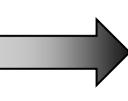
卸売業（その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

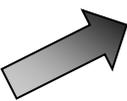
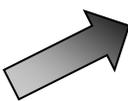
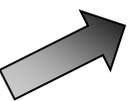
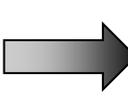
小売業（大型店）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

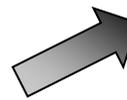
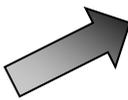
小売業（食料品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

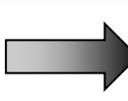
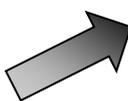
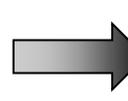
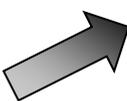
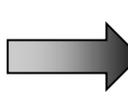
小売業（事務用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

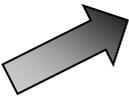
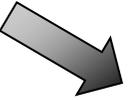
小売業（趣味・日用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

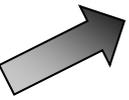
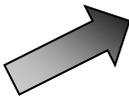
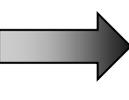
小売業（家電）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

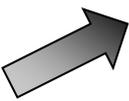
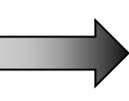
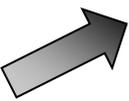
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

## ➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

### 製造業（食品）

- 円安対策！！ 原料仕入れの主力を変更。利益確保対策を夏までに、資材コスト減少を含め方針転換。
- すべての仕入れ商品が値上げしてきますが、麺類は大手事業所・準大手メーカー等乱売しているため、商品の値上げが出来ない。
- 原材料費上昇中。

### 製造業（家具）

- アベノミクスは中小企業にとって懸念材料の方が大きい。企業間格差（業種別格差、大企業と中小企業の格差）が益々広がると思う。

### 製造業（工業製品）

- 5月に入り受注が減少している。
- 製造業の末端のお客様に対しての本来の忙しさはまだままであり、この数か月先の動きは見えていないのが現状。株価での良き業績は一部の会社。円安は製造業にとって追い風となるか？
- 競争激化による販売価格引き下げ圧力が強く、収益確保が難しい。

### 製造業（宝飾）

- 富士山の世界遺産登録により、観光客の増加が見込まれるのと、それに伴う企画商品の開発がプラスされる。

### 卸売業（その他）

- 円安に伴う仕入単価の上昇。

### 小売業（大型店）

- この4月8日から屋上を開放。晴天時には「富士山が見えます」の取り組みを実施している。

### 小売業（趣味・日用品）

- 中心街の娯楽のシンボルだった映画館が消えた。実効はともかくイメージダウンは大きい。商店街をぶらぶらの雰囲気を作れないものか。

#### サービス業（ホテル）

- ・4、5月は前年同期とほとんど変わりませんが、夏休みに入り家族連れの旅行者が増えるのではないかと期待しております。

#### サービス業（観光）

- ・天候の影響で桜の開花時期が早すぎて、ツアーのキャンセルが出ました。

#### サービス業（飲食その他）

- ・ウナギは「希少で高価」という現実がお客様に認識されています。特別な日に食べるようになっていきます。厳しい業況です。
- ・材料の値上げが予測されるが商品単価を上げる事が出来ないので、採算に影響してくる事、従業員（パート）の入退社が多いのが問題点。
- ・秋のシーズンに向かって、アベノミクスの影響が出てくると思う。

#### 建設業（建築）

- ・現場作業に従事する技能者不足や外注技能者の賃金上昇。
- ・減収減益、利益率の低下。

#### 建設業（土木）

- ・技能工不足になる（リーダークラス、部下ともに）→選別受注の可能性。

#### 建設業（鉄鋼）

- ・小、零細企業においてはアベノミクスは逆立ち状態。弊社においては先は見えていない。

